



さんりんしゃ 三輪車



ニッキー

八千代市立新木戸小学校

《校長室だより》

発行：校長 寺田 好江

令和元年度 第 20号

令和元年 10月 3日

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

本物にふれる体験を通して【1】 ひとり人形芝居【雲母さん】

9月26日(木)に1・2年生と手つなぎ学級を対象に、プロの「ひとり人形芝居」雲母(きらら)さんの上演がありました。子供たちをひきつける人形の動き・声の表情・舞台演出どれも素晴らしかったです。子供たちは人形劇の世界に引き込まれ、思わず「がんばれ!」と声をかけたり、一緒に歌ったり、会場全体が一つになって、あたたかい雰囲気にもまれていました。

2年生は昨年の演目も覚えていて、子供たちの心に印象深く残っていることもわかりました。本物のもつ素晴らしさで「心」が動き、豊かな感性が育まれ、想像力を膨らませる経劇は子供たちにとってとても大切なことです。雲母さんの人形劇も4年目を迎えたと思います。これからも「子ども読書の日集会」の朗読や人形劇にふれる機会を計画できるようにしていきたいと思っております。



本物にふれる体験を通して【2】 4年生・手つなぎ学級和太鼓体験

9月30日(月)10月1日(火)の二日間、日本の伝統文化に親しむ機会として4年生と手つなぎ学級が「和太鼓体験教室」を行いました。ゲストティーチャーのお二人は、日本を代表するプロの和太鼓奏者「来舞(らいぶ)デュオ」の過足雅之先生・照沼啓子先生です。

先生方の声かけで子供たちは、和太鼓の世界に引き込まれ、パワー全開の演奏をしていました。クラス毎に「おいしいもの」をテーマにリズムを口ずさみながら演奏しました。グループで役割を決めて「よろしくお願いします。」「ありがとうございました。」の掛け声や、姿勢にもこだわった指導をしていただき、『和の心・礼』についても学ぶ時間になりました。和太鼓の持つ「ドン!」という音は、体の奥底に響き、掛け声をかけながら和太鼓をたたく経験が、子供たちのパワーにつながっていくと思います。たくさんの保護者の方の参観もありがとうございました。

